

令和元年度青少年「平和と交流」支援事業（ひろしま子ども平和の集い）報告書  
団体名（千葉県市原市）

平和大使である市内中学生8人と引率者2人が、8月5日（月）から7日（水）までの3日間、被爆地広島を訪問しました。



派遣初日は、広島市の平和記念公園内にある原爆ドームや慰霊碑、今年4月にリニューアルオープンした広島平和記念資料館本館を見学しました。歴史の遺物を通して、74年前に起きたことの悲惨さ、恐ろしさを肌で感じました。

派遣2日目は、広島平和記念式典へ参列しました。

安倍首相を始め、松井広島市長や国連事務総長代理など、国内外から集まった約5万人の方々と、平和に対する強い決意をともにしました。

また、式典終了後は、初めての試みとして、「ひろしま子ども平和の集い」に参加し、全国から集まった児童生徒に向けて、平和の大切さや命の尊さについて熱い想いを発表しました。



大使たちは、700名ほどが集まった観客の前で堂々と発表し、「折り鶴賞」に入賞し、広島市教育委員会 糸山教育長から、賞状と盾をいただきました。

その後、大使たちが通う中学校の生徒たちが想いを込めて折ってくれた千羽鶴を広島記念公園内にある原爆の子の像に献納し、夜には、同公園内を流れる元安川（もとやすがわ）の護岸から、平和な世界を願い、灯籠流しを行いました。

最終日3日目は、世界遺産である宮島、厳島神社を参拝し、核のない世界平和を祈願し、帰路に着きました。

大使たちは、今回の広島派遣を通じて、本や映像だけでなく、実際にその場に行き、自分の目で見て、平和がいかに尊いかを感じ取ることができました。

この経験を糧にして、平和の伝承者としての活動とともに、平和のバトンを次の世代へ繋いでいくことの大切さを、改めて実感しました。